

調査・研究を担う職員の紹介

2022年4月

職名	氏名	専門分野	研究テーマ
			近年の主な実績
■歴史資料課／古文書の収集・整理・保存・公開及び調査・研究を行っています。			
史科学芸部長 兼歴史資料課長	富田 任	近現代	県政史と公文書の管理・保存について研究しています。 H31 「歴史館所蔵資料からみた明治四十三年八月期水害」(歴史館報第46号) H30 日曜歴史館「明治期の茨城県知事とその治績」
課長代理兼 首席研究員	由波 俊幸	近世	水戸藩や徳川慶喜の動向を中心に幕末維新期の政治史を研究しています。 R3 特設展示「渋沢栄一と茨城」 H29 特別展「志士のかたち—桜田門、天狗党、そして新選組—」
特任研究員	永井 博	近世	政治史を中心に、幅広い分野、年代を様々な視点から研究しています。 R2 企画展3「アーカイブズ展」「徳川齊昭と弘道館・偕楽園」 H29 「水戸藩における武家奉公人「黒鋏」について」(歴史館報第44号)
特任研究員	笹目 礼子	近世	一橋徳川家文書を中心に武家の奥向、交際儀礼を研究しています。 R3 一橋徳川家記念室展示2「一橋徳川家の大奥」 R1 史料叢書23「一橋徳川家文書 徳川治済期関係史料」
主任学芸員	武子 裕美	近世	御三卿の研究並びに地域史料の研究・保全・利活用の実践を行っています。 R3 一橋徳川家記念室展示1「一橋徳川家の家臣たち」 R1 テーマ展Ⅰ「花ざかり—描かれた春夏秋冬」
主任研究員	山縣 創明	中世	中世後期、とくに戦国時代の東国について、佐竹氏を中心に研究しています。
■行政資料課／行政資料の受入・整理・保存・公開及び調査・研究を行っています。			
行政資料課長	長谷川拓也	近現代	行政資料に含まれる地図や建築図面を調査・研究しています。 R3 企画展2「絵図・地図・アーカイブ図—描かれた茨城の都市と村—」 R1 日曜歴史館「城下絵図の情報力—常陸国下館・下妻・谷田部を事例に—」
首席研究員	長谷川良子	近世	本県にかかわる女性史と紀行文(旅日記)を研究しています。 R2 史料叢書24「弘道館関係史料Ⅲ」 R1 アーカイブズ展「黒澤止幾—幕末・明治の足跡を史料にたどる—」
主任学芸員	林 圭史	民俗	日常生活の変化ともの見方・考え方の移り変わりについて研究しています。 R3 「昔のくらし」 H29 テーマ展Ⅱ「茨城の民俗学者・藤田稔のみた世界」
■学芸課／展示及び調査・研究を担っています。			
学芸課長	小倉 朗	歴史	主に近現代関係資料の調査・研究をしています。 H29 アーカイブズ展「アーカイブズにみる鹿島開発からワールドカップまでの歩み」
課長代理兼首席研究員	藤 和博	美術・工芸	主に中世から近世の茨城県内の絵画作品や絵師の活動を中心に研究しています。 H28 テーマ展Ⅱ「古美術ワンダーランド」 H29 テーマ展Ⅰ「水府美術譚」
首席研究員	小澤 重雄	考古	県内の古墳と、古墳が築かれた時代について研究しています。 R3 企画展3「ふえいす—掘り出された顔かたち—」 R1 テーマ展Ⅱ「いばらきスポーツのあゆみ—栄光の軌跡—」
首席研究員	石井 裕	歴史	主に近現代関係資料の調査・研究をしています。 R3 特別展「華麗なる明治—宮廷文化のエッセンス—」 R2 企画展2「戦争と茨城—茨城郷土部隊史料保存会所蔵史料から—」
学芸員	田中 伸吾	美術・工芸	工芸作品、特に刀剣類とそれらをつくり出す職人たちを研究しています。 R2 特別展Ⅱ「鋼と色金—茨城の刀剣と刀装—」 R2 「一橋徳川家の名品Ⅳ」
学芸員	蔀 政人	美術・工芸	仏像・仏画などの仏教美術を中心に、県内作品の研究をしています。 R3 企画展4「親鸞を継ぐ—如信をめぐる遺宝—」 R3 「茨城県常総市願牛寺所蔵阿弥陀三尊像についての一試案」 (歴史館報49号)
学芸員	森戸日咲子	民俗	お祭りを飾るものやそれらをつくる人々について研究しています。
資料調査専門員	飛田 英世	歴史	中世(～近現代)全般の資料を調査・研究しています。 R3 「中世佐竹氏の世界—千秋文庫所蔵文書から—」 R1 特別展「佐竹氏—800年の歴史と文化—」

史科学芸部